

日本疫学会サマーセミナー2016

疫学研究の成果・手法を臨床に活かす:

ガイドライン作成から専門医制度との連携まで

 **2016年 8月27日 (土) 13:00~17:00**

慶応義塾大学医学部予防講堂

(JR「信濃町」または地下鉄大江戸線「国立競技場」から徒歩5分)

本セミナーは、主に臨床医の先生方を対象に疫学研究の成果を臨床に活かす手法を学び、同時に現実の臨床データでは避けて通れない欠損値の処理方法についての最新の統計学的手法を学びます。皆さま奮ってご参加ください。

詳細：<http://jeaweb.jp/activities/seminars/20160827.html>

1) 講演

- ① 高血圧ガイドラインへの疫学研究の貢献: 家庭血圧の基準値ができるまで
大久保 孝義 (帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学・主任教授)
- ② ビッグデータ時代の疫学の現状と展望
—National Clinical Databaseの活用事例から考える—
宮田 裕章 (慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学・教授)

2) 演習 臨床データベースを用いた解析のTIPS (欠損値の処理について)

阿部 貴行 (慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学・専任講師)

(チューター) 日本疫学会若手の会有志

【申込期限】


8月1日 (月)

※定員50名になり次第締切

【受講料】

日本疫学会会員：千円

非会員：1万円 (当日の入会も可能)

 お申し込み・お問い合わせ：

氏名、所属、連絡先 (E-mail) をご記入の上、件名を「サマーセミナー申込」として、メールにて日本疫学会事務局 (jea@jeaweb.jp) にお申し込みください。